



2026年 8 月10日

各 位

会 社 名 株式会社エノモト
代表者名 代表取締役社長 白鳥 誉
(コード番号：6 9 2 8 東証スタンダード)
問合せ先
役職・氏名 取締役上席執行役員
経営管理グループ担当 武井 勉
電 話 0 5 5 4 - 6 2 - 5 1 1 1

業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年 5 月11日に発表いたしました2027年 3 月期の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2027年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(自 2026年 4 月 1 日 至 2027年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 32,000	百万円 2,000	百万円 2,000	百万円 1,400	円 銭 217.38
今回修正予想(B)	34,000	2,400	2,400	1,750	265.10
増減額(B－A)	2,000	400	400	350	
増減率(%)	6.3	20.0	20.0	25.0	
(ご参考) 前期実績 (2026年 3 月期)	30,415	1,650	1,766	1,231	191.21

(2) 通期連結業績予想の修正の理由

売上高については、オプト用リードフレームの量産立上げが順調であるほか、パワー半導体用リードフレームが車載向けを中心に回復傾向であり、コネクタ用部品においてはスマートフォン向けなどが期初の予想を上回って高い水準で推移しております。また、利益面では増収に加え、工程改善等による収益力向上が業績に寄与いたしました。

これらの状況を踏まえ、当期の業績予想について現時点で入手可能な市場環境及び個別の情報を総合的に分析した結果、上記のとおり2027年 3 月期通期連結業績予想における「売上高」、「営業利益」、「経常利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」の各項目について上方修正をいたします。

当社は2027年 3 月期を最終年度とする中期経営計画『ビジョン2030 2nd STEP』において、売上高300億円、営業利益24億円、ROE 9%の目標を掲げて、車載向けリードフレームの生産拡大、ハイエンドLED用リードフレームの強化、メッキ内製化による付加価値向上など種々の施策に取り組んでまいりました。従来予想では売上高は計画達成可能なものの、利益については計画未達を予想しておりましたが、上記の理由により、売上高だけでなく、営業利益も達成できる見通しを持つに至りました。

長期ビジョン『ビジョン2030』の最終ステップであります『ビジョン2030 3rd STEP』が2028年3月期より始まります。新中期経営計画につきましては2027年5月発表予定で、これから策定してまいります。一貫生産品の生産拡大やスマートファクトリー化、更なるグローバル展開など、長期ビジョンで示した施策を実現し、長期ビジョンの実現を目指して、施策をしっかりと策定してまいります。

2. 配当予想について

(1) 2027年3月期配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2026年5月11日発表)	円 銭 —	円 銭 37.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 77.00
今回修正予想	—	40.00	—	40.00	80.00
前期実績 (2026年3月期)	—	35.00	—	40.00	75.00

(2) 配当予想の修正の理由

当社は、当社グループの持続的成長と株主の皆様の長期的な利益の重視を目的に、配当方針の指標としてD O E（株主資本配当率）を導入し、配当金支払額の下限を2.5%としております。

上記方針に基づき、中期経営計画『ビジョン2030 2nd STEP』では2027年3月末の配当予想を77円としておりましたが、上記の通り、通期予想上方修正を受けて、2027年3月期期末の株主資本が中期経営計画を上回る見通しになりましたので、2027年3月期の1株当たりの中間配当予想を37円から3円を増配して40円といたします。これにより、期末配当予想40円と合わせました1株当たりの年間配当予想は80円となります。

（注）上記の予想数値は当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以上